

(様式第2号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件1)

令和5年12月1日

所在地 山梨県甲府市塩部4-15-5
企業名 国際建設株式会社
代表者 代表取締役社長 佐々木幸一

当社は、SDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

国際建設株式会社は、防災減災などの地域に根差した事業を行う中で、長期的な視野に基づく、良好な地域環境、地球環境の実現のために全力を注いでまいります。今後も持続可能な開発目標の実現のために、弊社事業に関連が深いSDGsの取組を行い、より一層の社会貢献をしてまいります。

3側面 (主な分野に☞)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況	
			登録年月日：令和4年12月1日	(進捗率)
✓環境 ✓社会 ✓経済	人権・労働 「健康経営」 「生活習慣病等の疾病の高リスク者に対する重症化予防」定期健康診断実施時の有所見率56%を半数までに低減する。(最終目標は0%) 「受動喫煙対策・喫煙率低下」喫煙率47%を半数までに低減する。(最終目標は0%) 且つ敷地内全面禁煙を目標とする。	・定期健康診断の有所見率の低減 現状値：56% ⇒2030年度：28%~0% ・喫煙率の低減 現状値：47% ⇒2030年度：24%~0% ・「健康経営優良法人」「やまなし健康経営優良企業」継続認定を目指す。 ・女性活躍推進法に基づく認定「えるぼし」、次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」、青少年の雇用の促進等に関する法律に基づく認定「ユースエール」新規取得を目指す。 ・「山梨えるみん」認定新規取得を目指す。	・健康診断を実施した医師からは、要精密検査受診対象者及び要治療開始対象者に個別に通知を出してもらおうと共に、弊社産業医からは定期健康診断結果に基づく意見を聴取し、要治療対象者には面談の上、早急に受診及び治療を開始する様に勧奨した。要精密検査対象者には精密検査の受診勧奨を行った。要治療継続対象者には治療内容等の報告書の提出を求めた。精密検査にかかる費用並びに治療報告に関する診断書等は会社負担とした。更に全国健康保険協会山梨支部による特定保健指導を対象者に対して実施した。	所見率は、48% (前回は、58%) 達成率は28%

			<p>・「喫煙率の軽減の取り組み」「受動喫煙対策に関する取り組み」として、山梨県の「禁煙・分煙認定施設」の認定も受け、屋内全面禁煙となっており、将来的に「敷地内全面禁煙」を目指し、WHOが定める禁煙デー（毎年5月31日）に合わせて禁煙週間を設け、敷地内全面禁煙、禁煙セミナーを実施した。又、全国衛生週間の（10月1日乃至10月7日）、山梨禁煙週間（11月9日乃至11月15日）も敷地内全面禁煙を実施した。更に、毎月22日を禁煙の日と設定した。</p>	<p>喫煙率は、43%（前は、47%）達成率は21%</p>
<p>✓環境 ✓社会 ✓経済</p>	<p>環境 「廃棄物」「エネルギー」「温室効果ガス」「有害化学物質」「水の管理」「環境マネジメントシステム」「3Rの推進」 弊社の各作業所（現場）からの公共用水路への流出管理、及び協力業者等の使用溶剤管理と指示を行うことにより、具体的には、測定機器等により水質試験をおこない、化学薬剤の流出による水質汚染をゼロにする。クールビズ運動等の省エネルギー活動を行うことにより、事業所の温室効果ガス排出量を、対前年比3%程度低減していく。事務用品等のグリーン購入の実践、アスファルト関連・コンクリート関連・埋め戻し材料関連の再生材料の積極的な活用することにより、廃棄物の量をゼロを目指す。事務用品等（紙類、文具類、オフィス家具類）のグリーン購入の推進。</p>	<p>・温室効果ガス排出量抑制 現状値：123t-CO2 ⇒2030年度：90t-CO2 ～60t-CO2 ・グリーン購入率 現状地：47% ⇒2030年度：70%～90% ・「品質マネジメントシステム ISO9001」「環境マネジメントシステム ISO14001」継続認定を目指す。 ・労働安全マネジメントシステム ISO45001の新規認定取得を目指す。 ・山梨県の「温室効果ガス排出抑制チャレンジ事業者」「チャレンジ産廃3R 事業優良取組事業者」継続認定を目指す。</p>	<p>山梨県地球温暖化防止事業者宣言を行い「温室効果ガス排出抑制計画チャレンジ事業者認定」「やまなしクールチョイス県民運動サポーター」「令和4年度チャレンジ産廃3R 優良取組事業者及び令和5年度チャレンジ産廃3R 事業者認定」をそれぞれ受け、環境方針及び環境マネジメントプログラムに則った活動を行った。</p>	<p>（進捗率） 温室効果ガス排出量抑制値は、123t-CO（前回同様） グリーン購入率は、54%（前は、47%）達成率は30%</p>

✓環境 ✓社会 ✓経済	社会貢献・地域貢献 「地域への影響の配慮」「社会貢献活動」 SDGs の普及推進活動を行う中で、「自社の事業を通じて社会課題の解決に貢献する。」取り組みを発信し、環境問題の解決や雇用の創出、経済の活性化に貢献することを事業の目的とし、その事業内容は「誰も置き去りにしない」世界を目指したSDGs「17の目標」の思いを込めた17色の色鉛筆を教育機関をはじめとした施設等にお配りする中で、SDGsの輪を広げて行く。	・ 弊社のパートナー企業集団である災害防止協会のメンバー（100社弱）のSDGsへの取り組みの推進及び「やまなしSDGs登録制度」への登録を働きかけて行く。 ・ 登録数 現状値：0件 ⇒2030年度：50件～100件	災害防止協会定期総会及び安全大会にて登録の働きかけを行った。下請負工事契約毎にSDGs推進の取組の協力依頼を行っている。	(進捗率) 88社中、11社登録にて進捗率は、12.5%

2030年の目指す姿

<ul style="list-style-type: none"> ・ お客様の期待及び満足にお答えするべく安全・安心で高品質な仕事を提供出来ている。 ・ 信頼される仕事を通じて地域社会のために貢献し、災害時支援活動及び環境保全活動も継続して行っている。 ・ 時代の変化に対応し、弊社社員及びパートナー企業集団である災害防止協会のメンバー（100社弱）と共に技術の研鑽に努め、公平・公正・厳密な取引を行ない、安全衛生管理の徹底を図っていく。 ・ 経営理念にもとづくマネジメント化された経営計画と行動計画のもと、品質、環境、安全衛生に対する各方針と目標を達成するべく社員一丸となって取り組んでいる。 ・ 社員に対しては公平・公正な評価を行い、適切な能力開発と教育訓練の機会を提供し、人材育成に推進し、快適な職場環境を構築している。
--

【記載留意点】

- ・ 上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、（様式第3号）「SDGs 達成に向けた取組チェックリスト」（要件2）に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・ 指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・ 「環境」、「社会」、「経済」の **3側面の全てについて**重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・ 重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。